

Avior

Rockport Technologies



革新的な進化を遂げて生まれたロックポート アヴィオールは、プライベートな空間を音で豊かに彩る存在だ。同時に、音楽を厳しく、深く鑑賞するときでも、この上ない心地よさと安心感をもたらす、細密且つ的確な描写力を備えたスピーカーだ。

「ハイリゾリューションと音楽性は両立する」

ハイエンドスピーカーの評価には「高解像度」と「音楽性」という一見矛盾と思われるような相反する二つの基準がある。この2つの基準は1つのスピーカーでは両立できないから、音楽を心から楽しむ時、またそれとは逆に、深く聴き込む時には異なるスピーカーが必要である、と考えるリスナーも多い。

だが、ロックポートは超高分解能と音楽性は相反するものではなく、共存しようという信念に基づいて制作されている。論評において分析的と言われるスピーカーはある程度独特の「味付け」がなされている。中高域など特定のエリアがスピーカーの音色的特質を形成し、音楽スペクトラムを強調するような場合、「高解像度で反応が速い」と評価されることが多い。一方で音楽性はあくまで人間の感性による判断と思われがちだ。

ロックポートは両立を図るために、周波数特性、位相、歪み、インピーダンスカーブ、エンクロージャ形状構造といったスピーカーデザインにおける技術的要素の重要性を主張している。理にかなったデザ

ンによって音楽表現に巧みに組み込まれた繊細で細やかな演奏指示楽節をそのまま届けることができる。それこそが音楽家の表現をそのまま伝えるスピーカーという事ができよう。

研ぎ澄まされた感性

高解像度で本当の意味での音楽性を備えたスピーカーは、音楽を音楽たらしめる「魔法」を信号の中から捉えてリスナーに届けるスピーカーである。この質の高いスピーカーを目指すには高解像度スピーカーデザインの要素を理解することが大切なのだ。測定結果を十分に考慮し、音楽が弾まなければ問題を解決することが大切である。楽器の基音と固有の倍音、連続する倍音成分を正確に捉えることが求められる。加えてダイナミックスの連続性が低域から超高域に至るまでリアであること、更にエンクロージャのマテリアルとデザインが大きな要素となる。このことをチーフデザイナーのアンドリュー・ペイヤーは25年の研究と試行によって突き止めた。一言で言えば、技術的スキル、マテリアルの選択、そして製造工程が、真の意味での高解像度スピーカーを製造するのに欠かせないポイントなのだ。これらが最適に調和すると音楽性が豊かで解像度の高いスピーカーが出来上がる。

ロックポートは試作品の試聴はきわめて重要であると考えている。その為、適度の拡散性を持つ音響的にニュートラルな試聴室を用意し、徹底的に音楽性と解像度を追求している。ペイヤーは音楽好きの家庭

本社全景。典型的ニューイングランド建築の本社は試聴室、製造室などを含み、まさにプティックファクトリーと呼ぶにふさわしい。



で育ったために音楽を愛する気持ちが人一倍強い。そのため物理的、電氣的、音響工学的原理を重視して音楽信号の絶対的一貫性を忠実に維持するように設計している。

ペイヤーは高次元の音楽性ときめ細やかでしなやかな分解能を兼ね備えたスピーカーを目指す、と語る。アヴィオールは、妥協なく進化したハイエンドスピーカーであり、熟成されたパフォーマンスを誇るスピーカーである。その秘訣は以下の要素に要約される。

何も加えずに、何も失わずに音楽をリスナーに届けるためには、エンクロージャは硬度と柔軟性と云う、相反する性格を兼ね備え、且つ質量の高いものでなければならない。接着剤を含め、独自に開発したマテリアルと内部構造、内部反射をキャンセルする形状、そして外部共振の影響を排除する質量を最適化したエンクロージャであることが重要だ。最高品位の素材と現代的なフォルムが目にとまるが、すべて必然から導かれた結果である。ピアノグロス仕上げの外装はシックな華やかさの極みだ。

中域、低域のドライバーは表面を平坦に保つ特殊形状の細いカーボンファイバーによってダイアフラムを構成する。ゆがみ、よじれ等の変形を起こさないようにロハセルをコアに両面をカーボン繊維で挟んだ硬く、軽いダイアフラム。その質量は $6.8\text{mg}/\text{cm}^2$ という軽さ。超低域まで快感を覚えるほどの表現力が備わった。この中核を担うドライバーにベストマッチと言えるほどにスムーズな音のタペストリーを紡ぐのがベリリウムトゥーターだ。まさに心地よさと解像度が同居する音となった。

クロスオーバーはスピーカーの心臓部である。最高品位のパーツとそのマッチング、精度と情熱をもってすべて手配線による作業。最低限のグループディレイと位相の完全整合を果たすネットワークは、精度を伴ったトランジェント特性を実現。最終段階では、ペイヤー自身が一台一台、個別に測定をし、その後微調整を行ったうえで、リスナーに届ける。完全主義の実践だ。

アヴィオールは、ペイヤーの技術と感性のすべてを注ぎ込んだスピーカーだ。あらゆるジャンルの音楽再生の根幹である基音と倍音の正確な再現。フルオーケストラのスケール感とステージの表現。ピアノアタックの急峻な立ち上がりとその後の余韻。ジャズであれ、ロックであれ、演奏家が表現する音楽を、高解像度なミッドレンジ、威厳を持った超低音と共にテクスチャ豊かに再現する。新素材ドライバーと独自のエンクロージャによって、高い解像度と圧倒的なダイナミックレンジによって、演奏現場へと聴き手をいざなう。

すべてにおいて極めて高いレベルのゆとりと分解能が求められるハイエンドモデルにとって、設計者の思想と情熱を込めたロックポートスピーカーは、私たちの生活をより豊かに、楽しくしてくれることは間違いない。自ら信じる究極のクオリティを目指して、品質をひたすら追求するロックポートテクノロジーズ。音楽を心から敬愛するデザイナーから、音楽の力と真価を見極める聴き手への贈り物だ。

Rockport Technologies Avior

1mm厚の粘弾性層

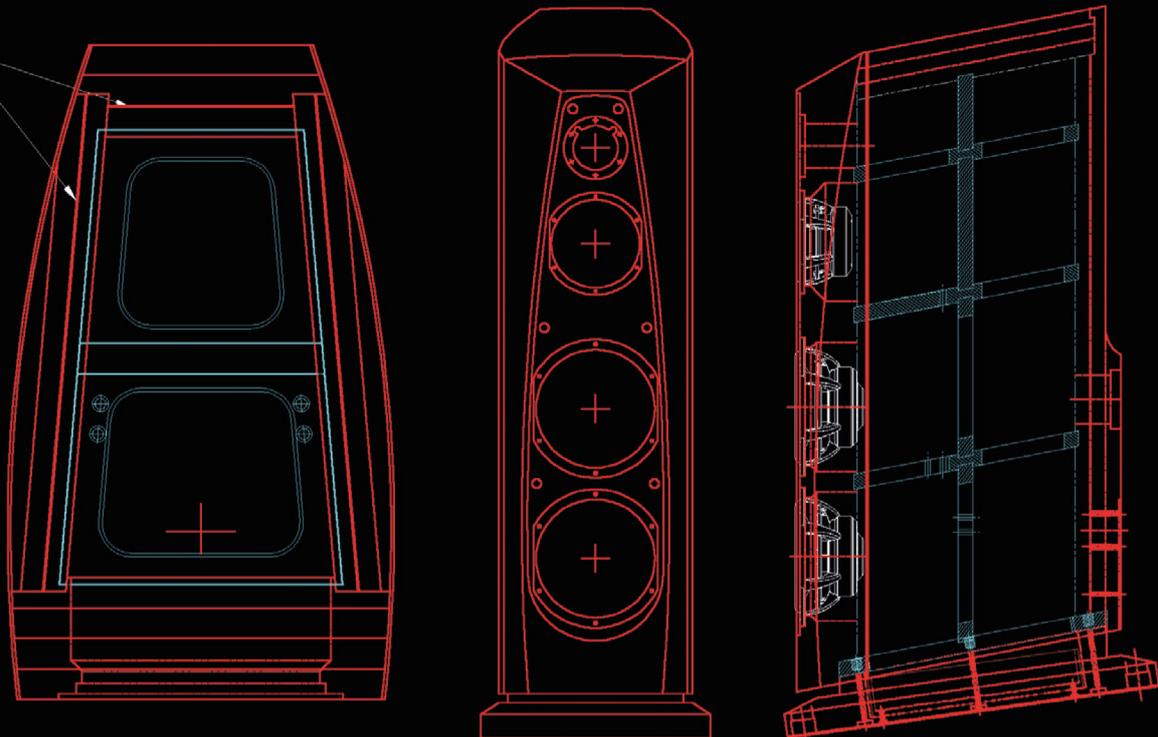
アヴィオールキャビネット構造は高ヒステリシスの粘弾性材料を使用したコンストレインドモード緩衝パネルの三層構造。

そのため、不要な振動エネルギーはパネル材内部の分子摩擦によって熱に変換されるので、キャビネット共振がほとんど無い。

厚さが異なるようにサイドパネルを整形したために、内部パネルは剛性が高まり、共振モードを押し込める。

フロントバツフルは15cm厚、独立した7つの補強材に支えられてキャビネット自体の剛性をさらに高めている。

このように共振を徹底的に押し込めたキャビネットであり、ダンピング特性に優れた材料を使用しているため、音楽を忠実に豊かに演奏する理想的なキャビネットとなった。





ドライバーは一本一本特性が微妙に異なり、それに合わせてネットワークが調整される。
ネットワークと完全にマッチしたミッドレンジドライバーをマウントする。



ロックポートによる独自構造のミッドレンジドライバー。
特殊カーボン繊維でロハセルをサンドイッチ構造にした超軽量コーン。質量はなんと6.8mg/cm²。



製品が完成し、入念にチェックが行われる。
その後、試験室で一台一台検聴し、ペイヤーの基準に合格したものだけが出荷される。



製造最終段階では、届けられるであろうユーザーに
ご満足いただける仕上げを、という思いで、さらに入念な検査を行う。

Specification

型式： 3ウェイ 4スピーカー バスレフ型

周波数帯域： 25 - 30kHz (-3dB)

インピーダンス： 4Ω (ノミナル)

能率： 89.5dB SPL/2.83V

ドライバー： ウーファー 23cm × 2 自社設計、カーボンファイバーサンドイッチ構造

ミッドレンジ 15cm × 1 自社設計、カーボンファイバーサンドイッチ構造

トゥイーター 2.5cm × 1 ベリリウムドーム

推奨アンプ出力： 50W 以上

サイズ： 38cm (W) × 118cm (H) × 62cm (D)

質量： 100kg (一機)

株式会社 太陽インターナショナル

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9 日本橋グレイス1F

Tel: 03-6225-2777 Fax: 03-6225-2778

Website URL: <http://www.taiyo-international.com>

このカタログに記載の仕様、規格、および外観などは改善のため予告なく変更することがあります。
また、図版の色彩は印刷インキや撮影条件などにより、実際の色と異なる場合がございます。予めご承知ください。